

まちづくりの大綱の 主な事業

2・3ページでお伝えした令和4年度施政方針に基づき、本年度も多くの事業が実施されます。その中でも主な取組を抜粋して紹介します。
※赤字は新規事業。
※1万円未満の金額は、四捨五入しています。



復旧・復興の主な事業

災害と向き合いながら
「次の災害に備える」
災害に強いまちづくり・人づくり



▶天ヶ瀬温泉街復興プロジェクト事業 530万円
天ヶ瀬温泉街の復興のため、地域で策定した「天ヶ瀬温泉復興ビジョン」の将来像の実現に向けたまちづくり活動を支援する。

▶都市防災総合推進事業 2,745万円
天ヶ瀬温泉街の復興・発展に向けた「復興ビジョン」をもとに、今後のまちづくりの目標や方針、これを具体化するための施策等を示す「復興まちづくり計画」を策定する。

▶中津江地区福祉保健施設移転整備事業 1億5,625万円
被災した中津江高齢者生活福祉センターの再建に際し、入居者等の安心・安全を確保するため、施設を移転し整備する。

③ 産業振興 やりがいと魅力をつくる

- ▶日田産地パワーアップ事業 1,475万円
アフターコロナを見据えた主要農産物の生産振興と魅力向上を図るため、生産基盤の強化やプロモーションを展開する。
- ▶ひたで働く魅力発信事業 306万円
学生等を対象に市内企業への就職を促進するため、UIターン支援拠点「dot.」を活用したイベントや情報発信等を行う。
- ▶進撃の巨人を活用した誘客促進事業・感染症対策観光需要喚起事業 2,021万円
「食」や「体験」を通じて日田の魅力伝える動画の配信を行うほか、進撃の巨人を活用した誘客の取組を展開する。



② 福祉 住む安心を高める

- ▶公立教育・保育施設整備事業 7,869万円
上・中津江地区における安心・安全な教育・保育施設を整備するため、「すぎっ子こども園」「なかっえ保育園」の統合を行う。
- ▶支援対象児童等見守り強化事業 973万円
要支援児童等の居宅を訪問し、子供の安否確認や状況把握をしながら、食事の提供、学習・生活指導支援等を行う。
- ▶自主防災組織活性化事業 519万円
自主防災組織の活性化を図るため、防火防災活動等への助成や体験型防災プログラムを実施する。



① 市民協働 きずなを強める

- ▶まちづくり活動推進事業 368万円
市民活動団体を対象に、地域活性化のために主体的に企画・実行する事業に対し補助する。
- ▶定住促進補助事業・ひた暮らしPR事業 3,845万円
移住・定住人口の増加を目指し、市の魅力と移住・定住に関する情報発信や民間団体との協働による移住サポートなどを行う。
- ▶オンライン手続支援システム構築事業 722万円
行政手続のオンライン化を進めるため、電子申請への案内や手続に関する問合せに自動応答するチャットボットを導入する。



⑥ 環境 水と緑を宝にする

- ▶美しいひたづくり推進事業 662万円
地域の環境保全を図るため、ポイ捨て等防止監視員による巡回監視や、モデル地区の指定による自主的な美化活動の支援を行う。
- ▶地域資源リサイクルシステム施設整備事業 1,363万円
資源の有効利用と既存施設の老朽化対策として、3つの廃棄物等処理施設を統合し、効率化するシステムの構築を目指す。
- ▶焼却施設等更新事業 1億2,530万円
清掃センターの施設更新へ向けた用地整備を進めるとともに、施設の設計・建設・運営業務における事業者の選定に向けた準備を行う。



⑤ 教育・文化 学ぶ楽しさを増やす

- ▶ICT教育環境整備事業・ICT教育支援事業 1億5,672万円
通信環境が未整備の家庭にモバイルWi-Fiルーターを貸与する等、環境整備などを行う。
- ▶小・中学校確かな学力育成支援事業 5,182万円
児童生徒の学習意欲と学力向上を図るため、AIドリルを含めた補助教材購入の公費負担、市独自の学力調査の実施等を行う。
- ▶ツール・ド・九州2023実施事業 155万円
サイクルスポーツの普及拡大で地域活性化を図るため、県と協働して「ツール・ド・九州2023」の開催に向けた取組を行う。



④ 生活基盤 安全で快適に暮らす

- ▶地域公共交通計画策定事業 1,185万円
効率的で利便性の高い公共交通網を構築するため、公共交通機関の利用実態調査や課題分析を行った上で、地域公共交通計画を策定する。
- ▶市道中間小五馬柚木線改良事業 1,500万円
木材運搬車等の通行が多い路線であり、一般車の通行に支障が生じているため道路整備に着手する。
- ▶公園施設長寿命化対策事業 4,312万円
公園施設の改築更新費用の削減・平準化を図るため、長寿命化計画に基づき、効率的な維持管理や改築・更新を行う。

